

③ 現認書・事実証明書の記載例

別記様式第1号

現認書・~~事実証明書~~

所属団体部局名	鳥取県〇〇保健所
被災職員氏名	鳥取太郎
現認・調査年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日 午 ^前 _後 〇 時 〇〇 分ごろ
現認・調査場所	〇〇保健所検査室

状 況

午後2時過ぎ、鳥取太郎さんが検査後のピーカーを洗って
おられましたが、「アッ」と言われたので近寄って見たら右手
拇指のつけねあたりから血が出ていました。

応急処置をした後、〇〇病院へ治療に行かれました。

上記のとおり 現認した。
事実調査したので証明する。

平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

現 認 者
住 所 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地
氏 名 〇 〇 〇 〇
職 業 (勤務先) 〇 〇 保 健 所
試験検査質

事実証明者
住 所
氏 名
職 業 (勤務先又は役職名)

印 →
印 → 私印

(注) 不用の文字を抹消して使用すること。

記載上の注意

- 1 現認者は、災害発生の現場に居合わせた者であればよく、職員に限定されない。
- 2 災害発生を目撃した状況をできるだけ詳細に客観的に記載する。
- 3 災害発生後の処理の状況についても、簡単に記載する。
例えば、応急手当を行ったとか、病院に行くよう指示したとか。
- 4 現認者本人が記載することを原則とする。
- 5 現認者がいない場合は、所属長等が災害発生後に事実調査を行い、事実証明者としてその状況を記載し、証明すること。